

効率的なウニ駆除装置

ユニバスター マニュアル（案）



(一社)水産土木建設技術センター

目 次

1.ウニバスター	1
1) 特長	1
2) 安全上のご注意	1
3) ウニバスター	1
2. 必要な資材・道具	2
1) 資材・道具	2
2) 組立時の注意事項	3
3) 組立手順	4
3.使用方法	7
4.点検とお手入れ	8
1) 使用前の点検	8
2) 使用後の点検	8
3) お手入れ方法	9
4) 保管方法	9
5.アフターサービス	9
1) 修理の依頼	9
2) 定期点検のご案内	9
3) 保証規定	10
4) 免責事項	10
6.よくある質問	
1) 器具に関する質問	
2) 使用方法についての質問	
3) 保管方法についての質問	
4) 修理・保証についての質問	

1.ウニバスター

1) 特長

- ・ハンマー等で叩いて、潰したり、割ったりする作業の労力を軽減します。
- ・空気の圧力を利用し、容易にウニ類の駆除が出来ます。
- ・空気の圧力を利用しているため、ウニ類の内容物が流失し確実に駆除できます。
- ・駆除の作業が苦にならずに作業できます。
- ・誰でも使用方法の講習を受ければ駆除が出来ます。

2) 安全上のご注意

- ・ウニバスターの先端がとがっているため、持ち運びの際、注意が必要です。
- ・空気ポンベの圧縮空気を使用するため、使用方法の受講が必要です。
- ・圧縮空気を使用するため、必ずマニュアルに従って作業して下さい。
- ・水中での作業は、必ずバディを組んで2人以上で行って下さい。

3) ウニバスター



ウニバスター（潜水用）

2.必要な資材・道具

1) 資材・道具

下記の必要資材を確認してください



ウニバスター（潜水用）2 本



送気ホース（5m×2 本）



送気ホース接続アタッチメント 1 個



送気ホース分岐器 1 個



シリコングリース



圧力調整器（レギュレーター）（レンタル）



空気ボンベ（レンタル）

2) 組立時の注意事項

- ✧ 駆除器具、空気ボンベ等機器の外観に損傷の無いことを確認して下さい。
- ✧ 空気ボンベのシール等にて、未使用であることを確認して下さい。
- ✧ 圧力調整器（レギュレーター）と空気ボンベを連結する際、Oリングの穴に合わせズレの無いようにきっちり合わせて下さい。
- ✧ 送気ホースの表面に傷が無いこと、コネクターに作動異常が無い事を確認して下さい。
- ✧ 中圧ホースと送気ホース接続アタッチメントを接続し、次に送気ホース、駆除機器の順に接続して下さい。
- ✧ 接続部を引っ張ってみて、外れないことを確認して下さい。
- ✧ 接続完了後、空気ボンベのバルブを開き、残圧計の数値（約 200bar 程度）を確認して下さい。
- ✧ 接続部から空気が漏れていないか、音で確認して下さい。
- ✧ 空気ボンベのバルブを開いた瞬間、ウニバスター先端から空気が漏れますが、一度先端を突く動作により、先端の弁を閉じて下さい。

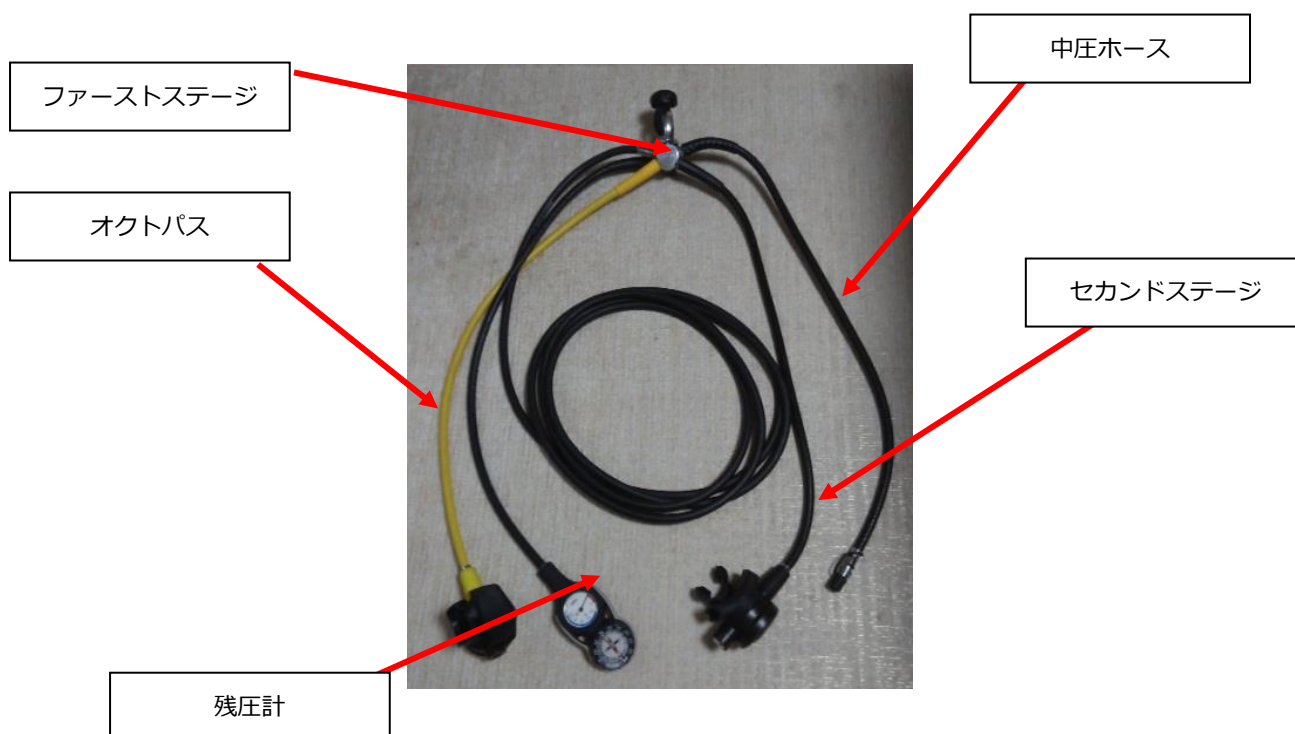
3) 組立手順

①空気ポンベの残圧を確認する。

- バルブに付けてあるシール等にて、未使用である事を確認して下さい。



②空気ポンベと圧力調整器（レギュレーター）を接続する。



- 圧力調整器のファーストステージと空気ポンベのOリングの位置をしっかりと合わせ、3本の指で締めて下さい。なお、強く締め付けないようにしてください。
- この時点では、空気ポンベのバルブはまだ開かず、締めたままにしてください。



③中圧ホースと駆除機器を接続する。

- 中圧ホースに送気ホース接続アタッチメントをしっかりと接続して下さい。



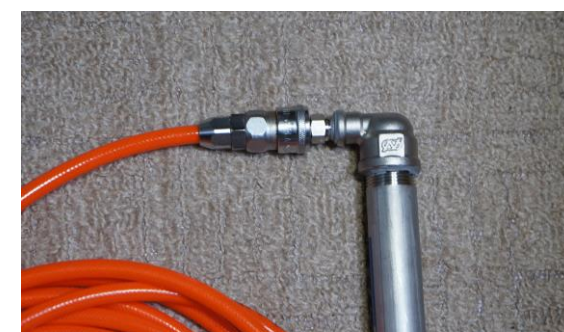
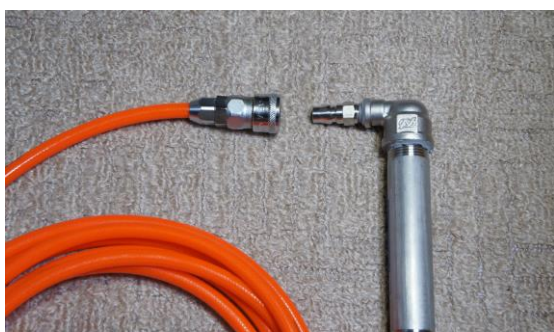
- 接続アタッチメントと送気ホース分岐器をしっかりと接続して下さい。

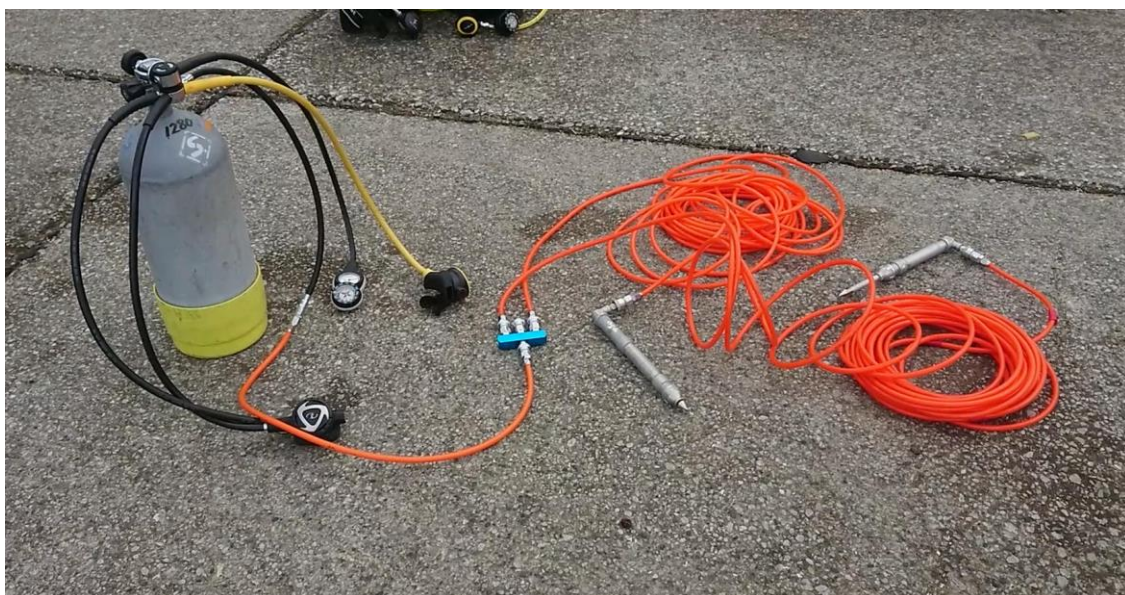


- 送気ホース分岐器と送気ホースをしっかりと接続して下さい。



- 送気ホースと水中用ユニバスターをしっかりと接続して下さい。





- 接続が完全かどうか接続部を引っ張って確認して下さい。
- ④空気ポンペのバルブを開放する。
- 空気ポンペのバルブを開き、これ以上回らない所まで回し、半回転戻して下さい（これは、バルブが他のものと接触した際にバルブの故障を保護するためです）。
- ⑤残圧計を確認する。
- 残圧計のメモリ 19.6MP（約 200bar）を確認して下さい。



- ⑥空気漏れを確認する。
- 接続部分から空気の漏れがないかどうか、音を聞いて確認して下さい。音が聞こえなければ、漏れはありません。
 - 空気ポンペのバルブを開いた瞬間、ウニバスターの先端から空気が漏れることがあります。その場合は、一度先端を突く動作により、先端の弁を閉じて下さい。

3.使用方法

- 組立が完了した水中用ウニバスターを船に乗せ、駆除海域まで移動します。
- ボンベは船上に置いて、ウニバスターと送気ホースを海中に降ろして駆除を開始します。
- ボンベを水中に持って行く場合は、残圧計のメモリが 20bar 以下になったら、作業を中断してボンベを交換する。

手順 ①		ケガをしないように手袋をしてください。 ウニバスターの握り方は写真のように送気ホース付近を握ります。 もう片方の手で岩場を掴みながら、ウニを探します。
手順 ②		ウニの中央部を目指して、ウニを強く突きます。水中浮遊でウニを突くと反動で身体が持って行かれます。海底に這いつくばるように身体を固定して、強く突いてください。 穴や隙間に潜んでいるウニは、先端を差し込んで突いてください。
手順 ③		圧縮空気が噴出し、ウニの殻を破壊します。圧縮空気は自動的に止まります。
手順 ④		破壊されたウニの殻の中は空となって、駆除が完了したことがわかります。

4.点検とお手入れ

1) 使用前の点検

- 水中用ウニバスターの外観に大きな傷、割れがないこと。
- 送気ホースの表面に傷、亀裂がなく、コネクターの動作に異常がないこと。
- 送気ホース分岐器:外観に大きな傷、亀裂がなく、コネクターの動作に異常がないこと。
- 送気ホース接続アタッチメントの外観に大きな傷、亀裂がなく、コネクターの動作に異常が無いこと。
- 空気ポンベのOリングに変形、傷がないこと。
- レギュレーターの外観に異常がないこと。
- 残圧計のメモリが 19.6MP（約 200bar）であること。

2) 使用後の点検

- 水中用ウニバスターの外観に大きな傷、割れがないこと。
- 送気ホースの表面に傷、亀裂がなく、コネクターの動作に異常がないこと。
- 送気ホース分岐器:外観に大きな傷、亀裂がなく、コネクターの動作に異常がないこと。
- 空気ポンベのOリングに変形、傷がないこと。
- レギュレーターの外観に異常がないこと。
- 残圧計のメモリが 20bar 以上であること。

3) お手入れ方法

- ウニバスターは、一昼夜真水に浸してから日陰干しする。
- 送気ホースは、一昼夜真水に浸してから日陰干しし、乾いてからコネクター部に添付のシリコングリースを塗布する。
- 送気ホース接続アタッチメントは、一昼夜真水に浸してから日陰干しし、乾いてからコネクター部に添付のシリコングリースを塗布する。

4) 保管方法

- 梱包用の保管箱に入れて保管する。

5.アフターサービス

1) 修理依頼

- ウニバスターセットの修理は、下記のメーカーが対応いたします。

メーカー：スミリーフ株式会社

住所：〒164-0011 東京都中野区中央 3-34-1

スミリーフ株式会社 技術部

電話：03-3229-8110

E-mail：info@sumireef.com

2) 定期点検のご案内

- 1年に一度定期点検を行います。
- ウニバスターの先端部分、ゴムパッキンの交換は有償で行います。

※以下は、納品後の対応です

3) 保証規定

- ウニバスターについては、取り扱い説明書に従い、正常な使用状態で故障した場合には、本体保証の記載内容に基づき無償にて修理いたします。
- 保証期間中に故障して無料修理を受ける場合には、製品と保証書をご提示または、添付の上依頼して下さい。尚、送付される場合には、送料をご負担下さい。

4) 免責事項

- 保証書をご提示されないときの保証。
- 保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの及び販売店名の表示のないものの保証。
- 火災、地震、水害、落雷その他天災事変、公害等による故障及び損傷。
- 納品後の輸送移動時の落下等、お取り扱いが不適当なため生じた故障及び損傷。
- 説明書記載外の使用法、または注意に反するお取り扱いによって生じた故障及び損傷。
- 改造または誤使用の責任に帰すると認められる故障及び損傷。
- 消耗品の交換。
- 製品に添付しているラベルまたはプレートを毀損または剥がすなどして製品の商品名または製造番号を判別不能または判別困難としているとき。
- 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害について。
- 日本国内以外での使用によるもの。
- 保証書の再発行。